

JIC インフォメーション

第 233 号 2025 年 1 月 15 日

特別号・JIC 留学セミナー報告

1 部 500 円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義 <http://www.jic-web.co.jp>

東京オフィス: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル 7F TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪・ロシア留学デスク: 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4 谷町スリースリースビル 7F TEL: 06-6944-2341

はりねずみのジェーニャ



【報告】JICロシア語留学セミナー2024

ロシア語留学の今

～留学前に知っておきたいこと～

ロシア
・
旧ソ連
国際
交流
誌



<http://www.jic-web.co.jp>

JIC ロシア語留学セミナー2024 <全報告>

ロシア語留学前に知っておきたいこと… 小西 章子 ……2P

<現地からの報告>

モスクワの現状… チスティリーナ・イリーナ……7P

留学経験者として日露学生交流を応援… 荒川 好子 ……8P

ウラジオストクからの報告

…フルスタリョーバ・クセーニア ……10P

ロシア以外の国でのロシア語留学… 小原 浩子 ……12P

質疑応答 (司会: 岡本健裕) ……13P

JICでは、Jクラブ(JIC友の会)会員を募集しています。
年4回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

2024 年 11 月 23 日、東京・新宿区の会議室にて「JIC ロシア語留学セミナー2024」をオンライン併用で開催しました。「ロシア語留学の今～留学前に知っておきたいこと」と題して、JIC のロシア語留学チームとロシア現地担当者らが、最新のロシア語留学事情を報告。参加者は約 30 名で、セミナー後には会場で直接面談による留学相談会を行いました。驚いたのは、居残った約 10 名の相談者の全員がロシアへの留学を希望していたことです。これには励まされました。JIC は様々な困難にもかかわらず『挑戦心』を失わずロシア語留学をめざす若い人たちを全力で応援したいと思います。なお、当日の司会は JIC 留学チームの岡本健裕が担当しました。

以下は、留学セミナーでの各報告と質疑応答の内容です。(編集部)

【基本報告】ロシア語留学の今

留学前に知っておきたいこと

小西 章子 (JIC ロシア語留学チーム・リーダー)

JIC ロシア語留学チームの小西です。私のロシア留学経験は、大学生の時に語学研修で 1 か月間イルクーツクへ行ったことと、卒業後モスクワに 1 年間留学したことです。もうかなり前のことなので、ロシアの現地事情は随分変わっていますが、その後も JIC でずっと留学に関わって何度もロシアに渡航しています。けれども、ここ 5 年間はコロナと戦争の影響で行くことができず、2018 年に留学生と一緒にウラジオストクへ行ったのが一番最近のことになります。

本日、私は、①JIC ロシア語留学の紹介、②留学前に知っておきたいこと Q&A、③来春のお勧めロシア語研修プラン、以上の 3 点について報告したいと思います。

JIC ロシア語留学の紹介

私たち JIC では、1989 年に開始して以来 35 年間ロシア語留学に取り組んできました。長期・短期合わせて延べ 4000 人以上の留学生をロシアおよびロシア語圏の国に送り出しています。今はコロナと戦争の影響で人数が減っていますが、コロナ前の 2010 年から 2019 年の感覚で言うと、毎年 200 人くらい、ロシア語留学研修のサポートをさせていただいております。私を含めて 4 名の担当者が留学希望者の相談に乗ったり、手配をしたりしていますが、ロシア現地でも 3 都市でスタッフが留学生のサポートとケアにあたっています。

私たちが取り扱っている留学プログラムは、(1) 長期留学 (3 ヶ月～1 年)、(2) 短期研修 (1 週間～3 ヶ月)、(3) グループ研修、(4) その他、といろいろなバリエーションがあります。

長期留学は、基本は 10 ヶ月間です。モスクワ大学、サンクトペテルブルグ大学、極東連邦大学など 5 つの大学で、春と秋の年 2 回、募集を行っています。10 ヶ月の留学が基本に



写真:(上)国立モスクワ大学本館 (下)授業風景

なるのですが、就職活動とかいろいろな事情で 10 ヶ月よりも短くするとか、出発時期を早める (あるいは遅くする) とか、そういう要望にも対応しています。また、JIC が提携している 5 つの大学以外でも、地方の大学など希望される留学先の受入条件の確認や留学手続代行のお手伝いしています。

短期研修は 1 週間から 3 ヶ月間。これは 1 人でも年中いつでも行くことができる語学研修です。短い期間であれば旅行感覚で気軽に出かけることができます。学生さんでも部活が

忙しいとか、社会人であれば休みが最大 1 週間しか取れないとか、そういった方たちにも合うようにプランを組むことができます。夏休みや春休みを利用してもう少し長く、例えば 1 か月間集中的にロシア語トレーニングをするといったことも可能です。いろいろな要望に応じて、その人に合ったプランをアドバイスし、手配させていただいています。研修先は大学に限りません。国立大学から私設の語学学校まで、またグループレッスンから個人レッスンまで、いろいろな受入先と提携しています。

短期グループ研修は、いわゆる企画募集ツアーですね。あらかじめ日程を決めて、日本から一緒に出発して、現地でも、宿泊はホテルだったりホームステイだったりしますが、一緒に学校に通って授業を受けるという形の研修旅行です。初めてロシアに行くので不安だという人や、ロシア語にまだちょっと自信がないといった人でも参加しやすいよう工夫して日程と内容を作っています。単に勉強だけでなく、観光の要素を入れたり、現地で日本語を学ぶロシア人学生と交流会を行ったりとか、旅行と留学の中間ぐらいの位置づけです。今年の夏はウラジオストクの極東連邦大学で 16 日間のプランを組んで 8 名が参加しました。来年(25年)春はサンクトペテルブルグで 9 日間のプランを募集しています。

その他、主にロシア語を教えている大学や先生方からの依頼で、大学の研修旅行の手配をプログラム作りなども含めてお手伝いしたり、逆にロシアの大学が主催する研修プログラムを日本の学生さんに紹介したりといったこともやっています。

留学前に知っておきたいこと

これからが本題です。ロシア語留学の相談ではいろいろな質問を受けるのですが、本日は最近特によく受ける質問を 5 つピックアップして、Q&A の形でお話ししたいと思います。

質問 1 ; ロシアの治安は大丈夫ですか？ 緊急事態のときはどうすればよいですか？

治安というより、ロシアの現在の状況ですね。一番気になっているのは、ウクライナ戦争でロシアの状況がどうなっているのかだと思います。「いまロシアに行っても大丈夫ですか？」「そもそもロシアに行くことができるんですか？」という問い合わせが結構あります。

海外危険情報レベル 3 は出ているが…

皆さんご存知の通り、日本外務省はロシアに対して海外安全情報でレベル 3 (=渡航中止勧告) を出しています。海外安全情報というのはレベル 1 から 4 までありまして、一番危険度が高いレベル 4 は退避勧告です。レベル 3 はその次の段階で、これはもちろんウクライナ戦争の影響でこうなっているのですが、外務省の説明では、現在日本とロシアの間に直

行便が飛んでいないこと(直行便は全部運休中になっています)、さらに日本で発行したクレジットカードがロシア国内では使えないなどロシア渡航にはすごく不便が多いということが、渡航中止勧告の主な理由とされています。

ただ、これはあくまでも勧告であって、ロシアへの渡航が法的に禁止されているわけではありません。また、ロシアの国境は通常通り開いていて、ロシア人でも外国人でも自由に出入国できます。ロシアの出入国にはビザが必要ですが、必要な書類さえ揃っていれば、ビザは以前と変わりなく在日ロシア大使館で発給されています。ロシア側の入国審査が特に厳しくなっているということもありません。

JIC としては、その人のロシア渡航を私たちが決めることはできません。「行ってはいけません」とも「行っても大丈夫です」とも言えませんが、ロシアに行きたいという人には、客観的な現地の状況や危険性を伝え、渡航にあたって何に気をつけたらいいか、目的地や渡航期間に応じて情報を提供して、最終的な判断はご本人に委ねています。

万一来て、 「旅レジ」 の登録と在留届の提出

それでもロシアに行くという人には、危険をできるだけ避けるために、また万一来て、いくつか重要なポイントをお知らせさせていただきます。

まず、これはロシアに限ったことではないのですが、海外渡航の際には外務省の「旅レジ」に登録すること、長期留学で 3 ヶ月以上現地に滞在する場合は必ず在留届を現地の日本大使館・総領事館へ提出することです。「旅レジ」で現地の安全情報をメールで受け取ることができますし、在留届を出すことで緊急時の連絡や安否確認、必要な支援を現地大使館から受けることができます。ですから、これは必ず行ってくださいと皆さんにお伝えしています。在留届は、今はオンラインで提出することができます。ただ、長期留学の人には在留届をオンラインで出したとしても、一度は実際に日本大使館または総領事館に足を運ぶように勧めています。もし何かあったときにすぐに慌てずに駆け込めるように、場所や経路を確認するためにも一度は行っておいの方がいいと思います。

緊急時には現地日本大使館・総領事館へ

起こってほしくはありませんが、もし緊急事態になったときは、現地の日本大使館・総領事館、受入先の大学と相談し、その指示に従って行動することになります。

また、モスクワとサンクトペテルブルグ、ウラジオストクには日本語で対応できる JIC のスタッフ・連絡員がいます。戦争や非常時にはもちろんですが、病気や事故などの日常的なトラブルの際にも、留学生のサポートをしっかり行っています。

留学はロシア語を勉強するために行くわけで、遊びに行くわけではないので、現地で何か困ったことが起こった時は、

ロシア語を使って自分自身で解決していくことが基本になります。それが一番勉強にもなりますし、ロシアで生活するということがそういう力を身に着けるためなのだと思うのですが、しかし、一人では簡単に解決できない問題にぶつかって本当に困った時は、現地スタッフのサポートが心理的にも実際にも大きな支えになります。これが JIC ロシア語留学の最大の強みの一つだと私たちは思っています。

JIC は現地スタッフとともに全力サポート

最近私たちが関わったサポートで記憶に新しいのは、2020 年春の新型コロナ発生時に世界各国で国境が封鎖されたときですね。あの時、モスクワやペテルブルグに留学していた学生たちが沢山いたのです。その人たちの緊急帰国の支援を集中してやりました。国境封鎖とともに帰国の航空便が基本的に全てなくなって、日本の大使館・領事館から次にいつ臨時便が出るという情報が入ったら即座に席が埋まるというような状況でした。帰国を希望する留学生のために、情報が入ったらすぐに予約して席を確保するといった作業を現地スタッフと相談しながらやりました。帰国せずに留学を続けたい人には、オンラインレッスンの準備を手伝いました。あの時初めてオンライン会議やオンライン授業がメジャーになったというか一般的になったわけですが、それまで皆さんオンラインの経験は全然なかった。私たちも初めてでしたが、とにかく受入先大学と連絡を取り合ってオンライン授業のやり方を確認し、留学生たちに情報を流しました。あとは帰国する人たちの授業料の返金手続きなどでも現地のスタッフが活躍しました。

海外旅行保険への加入も必須

最後に、これは留学に限らず旅行でもそうですが、任意の海外旅行保険には必ず加入するよう強くお勧めしています。これは戦争のあるなしに関係なく、現地で怪我をしたり病気になったり、盗難に遭ったりとか、そういった時に自分を守るためのものです。

JIC では長期留学に関しては、海外旅行保険への加入を必須条件にしています。私たちが紹介する保険でなくても構いません。家族や知合いが関係する保険会社や、大学生でしたら生協が取り扱っている保険会社もあります。どこの保険会社でもいいです。長期留学する場合には必ず保険に入ってください。

質問 2; 渡航に必要なロシア語レベルはありますか？

二つ目に多いのは、留学にあたってロシア語レベルはどれくらいあったらいいですかという質問です。

留学の目的や行き先によって必要なロシア語レベルにはばらつきがありますが、ここでは一般的な話をしたいと思います。

基本的にどのレベルでも留学は可能

基本的に私たちは、どのロシア語レベルの人でも長期・短期の留学手配をすることができます。現地の大学や語学学校には、初心者から中級・上級者向けまで、さまざまなコースが用意されています。初心者でも最低限アルファベットの読み書きと挨拶ができるくらいは必要ですが、それ以上のレベルの習熟度は別に問いませんので、その人に合ったコースを紹介できると思っております。

ただし、初心者レベルの人については、受入教育機関によって初心者向けコースのスタート時期が決まっているので、その点は注意が必要です。長期留学の場合は、基本的には毎年 9 月ないしは 10 月が初心者コースの開講月になります。これはロシアでは 9 月が学校の年度始まりになるからです。ロシア語力に不安のある人は 9 月の新学期に合わせて出発していただくのが一番だと思います。

短期の留学先であれば、学校によってまちまちですが、1 ヶ月に 1 回くらい初心者コースのスタート日が決められている場合が多いので、その日程に合わせて渡航スケジュールを組むことになります。

留学は現地で生活すること

では、どんなレベルでもいいのであれば、初心者でも簡単に留学できて大丈夫かと言えば、そうとも言い切れません。授業は確実に初心者向けのコースが用意されているので、ロシア語の授業を受けるだけであれば誰でも困難なくできると思いますが、留学というのは学校で授業を受けるだけでなく、やっぱりロシアで生活することとセットになるんですよね。ホームステイで滞在する場合にはホストファミリーとのコミュニケーションが必要になるし、学生寮に住むときは最初の入寮手続や寮生活の規則の確認からして分からないことが出てくる。全部理解するのは無理だとしても、ある程度ロシア語が分からないと厳しい。スタートで躓くことになってしまいます。まったくの初心者だと、スーパーで買い物すること一つとっても苦勞すると思います。

留学前には少しでも多く勉強を！

ですから、留学するのであれば、出発までの何ヵ月かだけでもロシア語の勉強をしっかりとやって、少しでも習得してから渡航した方がいいと思います。現地に行ったら何とかできると安易に考えて、ロシア語ゼロの状態飛び込んで、本当に何とかしてしまう人も中にはいらっしゃるんですが(笑)、普通はある程度ロシア語を勉強してきた人でも、最初のうちはロシアでの生活に慣れるのが大変です。ロシア語が全然聞き取れない、相手の言うことが一つも分からないというストレスは結構大きなものです。

授業では、先生は教えるプロなので、ロシア語が分からな

い人にも分かるように丁寧に説明してくれます。けれども、街の中で出会う人やお店の人とかはそんなこと関係ないですね。みんなロシア語を喋れると思って普通に話しかけてくる。ゆっくりと丁寧に話したりはしてくれません。そこで相手の言うことがわからなくてストレスを抱えることは、これは無くなることはないですが、少しでもストレスを下げたおいたほうが良いと思います。特に長期の場合には、行くと決めてから出発できるまで手続きにだいたい 2 ヶ月半から 3 ヶ月は必ず時間がかかりますので、その間にできるだけ勉強していただきたいなと思っています。

質問 3 ; ロシアではクレジットカードが使えないと聞きました。お金はどのように持っていくのですか？ 留学費用はどのように支払うのですか？

ご存じの通り、ウクライナ戦争による経済制裁措置で、現在、日本からロシアへの銀行送金は、例外はあるのですが、ほぼできません。また、VISA や Master など欧米資本のクレジットカードはロシア国内では使用できません。買い物はもちろん、キャッシング（現金の引き出し）もできません。そこで、最近は特にお金にまつわる質問が多くなっています。

必要なお金は現金で持って行くしかない

結論から言うと、留学中に必要なお金は、渡航する時に日本から現金で持っていくのが基本となります。ロシアの通貨はルーブルですが、ルーブルは日本では基本的に手に入りません。ドルまたはユーロを持って行って、現地でルーブルに両替することになります。日本円で持っていくこともできますけれども、都市によっては日本円からルーブルに両替できる所が限られているのと、また交換レートも悪いので、米ドルまたはユーロで現金を持って行くのが便利です。

留学中に使うお金というと、学生寮もしくはアパートなどの宿泊費、現地での生活費＝食費とか交通費、余暇の遊びに使う費用など、そういう個人的費用ですね。留学費用のうち、授業料はほとんどの大学・学校について出発前に日本で支払いが可能ですが、学校によっては送金できないところがあるので、その場合は授業料も留学生本人に持って行っていただくこととなります。

特にモスクワやペテルブルグといった物価が高い都市に留学する人は、全部現金で持って行くとするとうまい金額になります。税関申告せずに日本から持ち出せる額は 100 万円、ロシアに無申告で持ち込める額は 1 万ドルです。それを超えると税関申告が必要になります。また、経済制裁の一環として、ロシアに渡航する人には日本財務省が外貨（ロシアにとっての外貨）持ち出し金額の制限をかけているので、事前に出発空港の税関に相談して持ち出し額の許可をもらっておく必要があります。

SBI 銀行モスクワで口座を開けば送金可能

ただ、一つ例外的な方法があります。モスクワに SBI 銀行モスクワという銀行があります。これは日本の SBI 銀行の系列会社ですが、この SBI 銀行モスクワで口座を開くと、そこに日本から送金をすることができます（24 年 12 月現在）。日本の家族から日本円で送金してもらい、現地で留学生がルーブルでお金を引き出すという形になりますが、これが現在皆さんに案内できる日本からロシアへ送金する唯一の方法です。SBI 銀行モスクワに送金する際に日本の取扱銀行が限られているので、ちょっと手間がかかりますが、とにかく送金が可能です。

ロシアとともにベラルーシも経済制裁の対象になっていますが、現地に住んでいる日本人や留学生からの情報によると、ベラルーシでは西側のクレジットカードが使えるということです。ただ、これも状況はよく変わりますから、絶対に使えるかというところも言い切れないところがあります。現時点では、一応使えるという話を聞いています。

お金の保管は現地銀行の口座で～キャッシュレス対応にも便利

では、持って行った多額の現金をどうやって保管するか？ 昔は（ソ連時代やソ連解体後のロシアの経済混乱期には）各自がスーツケース（旅行カバン）に入れて保管していました。が、最近では別の便利な方法があります。

それは、SBI 銀行モスクワでも、ロシアのどの銀行でもいいのですが、ロシア国内の銀行で口座を作って、そこに現金を入れて保管することです。ロシアで銀行口座を作るのはそんなに難しくありません。

ロシアは日本よりもずっとキャッシュレス決済が進んでいます。ロシアの銀行に口座を作って、その銀行の専用カードを作るか、アプリをスマホでダウンロードしておくと、そこからいろいろな支払いができます。スーパーで買い物する時も、地下鉄やバス、タクシーに乗る時も、全部カードかスマホで済む。現金を持ち歩かずにキャッシュレス決済するのがロシアではすでに一般的になっています。

短期の場合だとわざわざロシアで銀行口座を開くのは面倒かもしれませんが、長期留学の人は結構それで日本よりも便利だったという報告を帰国後にももらっています。

質問 4 ; ロシア以外の国でロシア語はどのくらい通じますか？ ロシア語を使っても危険はありませんか？

ウクライナ戦争の影響でロシア渡航にはさまざまな困難が伴うため、最近ではロシア以外のロシア語圏の国、中央アジアやコーカサス、バルト諸国に留学する人が増えています。これらの国では、ロシア語が話されているとはいえ、必ずしも

ロシアに対する国民感情が良い国ばかりではないので、ロシア語を使うことが良しとされているのか、怪訝な顔をされたりしないだろうかと心配したり、あるいはロシア語がどれくらい通じるのか疑問を持つ人がいらっしやいます。

中央アジアではロシア語も公用語

今ロシア以外の国でロシア語を学ぶ留学先で一番多いのは中央アジアの国々です。カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタンなどですね。これらの国ではロシア語も公用語として認められているので、現地で何も臆することなくロシア語を使うことができます。街の中の表示なども、その国の母国語とロシア語が併記されていることが多いので、ロシア語は普通に通じるし、使って全く問題ないと思います。

中央アジアの国の中では、カザフスタンがもっともロシア語の普及率が高いと言われています。私たち JIC の派遣実績でもカザフスタンに一番たくさん長期留学生を送り出しています。ただ、これは私たちが「カザフスタンがお勧めです」と言っているわけではないです。それぞれの国に独自の文化がありますので、留学される皆さんの興味関心と重要視されるポイント（生活環境、言語環境、留学費用などなど）に応じて、留学先を決めていただければいいと思います。

バルト諸国でもロシア語は使われている

バルト三国では、ラトビアの首都リガに私たちが提携している語学学校があります。バルト三国はかつてソ連だった国々です。ソ連時代の末期に一早く独立運動が活発になり、ソ連解体の引き金ともなった国々なので、独立後はそれぞれの母国語が公用語となり、ロシア語は徐々に使われなくなって、最近ではむしろ英語の方が若い人の中で使われるようになっていのですけれども、それでもロシア語をよく使っている地域があります。中でもラトビアはロシア人が多く住んでいる国なので、首都リガでもロシア語を使う事に嫌な思いをすることはないと聞いています。

ただ、バルトは物価が高くて長期で行くとかなりお金が飛んでしまうのでなかなか長期留学する人は少ないのですが、夏休みとか春休みに短期研修で行く人は結構いらっしやいます。行ってきた人に聞くと、「全然大丈夫でしたよ。街中でロシア語を話しても白い目で見られたりすることはありませんでした」ということです。現地の年配の人はまだまだロシア語を使う頻度が高いようです。ただ、若い人の中にはもうロシア語が分からない人もいると聞いております。

質問 5 ; ロシア渡航の際に便利なアプリはありますか？

最後に、役立つ情報として、ロシアで使えるアプリケーションをいくつか紹介します。これは実際にロシア留学に出発する前に、みなさんが絶対に聞いてくる情報で、知っている

と便利なのですごく喜ばれます。後程、現地スタッフの報告でも紹介があると思います。

Вконтакте、Telegram、Яндекс

まずはコミュニケーションアプリです。日本だと LINE がよく使われていますが、ロシアでは LINE は基本的に使えません。ロシアで一般的なコミュニケーションアプリは、Вконтакте (フコンタクテ) と Telegram (テレグラム) です。Telegram は送信時に書類や動画の質が落ちないと言われていています。WhatsApp (ワッツアップ) は日本でも割と使われていますが、これもロシアで利用されています。



地図を見たり検索する時は、日本では Yahoo、Google が一般的ですが、ロシアではそれに代わるアプリとして Яндекс (ヤンデックス) が一番よく使われています。地図を見て、自分の位置を確認して、目的地までの経路を調べる。それにいろんな付属サービスがついていて、本当に Google と同じように使えます。

あとは、先ほど話した銀行の口座と紐づけたアプリを入れたり、よく使うスーパーのポイントアプリを入れたりですね。携帯電話の SIM カードも通信会社のアプリで残額を調べたり、チャージしたりできるので、実際に慣れると本当に便利だという声を最近の留学生の皆さんから聞いています。

以上、ここ 1~2 年間の留学相談でよく受ける質問を 5 点に絞ってお話しました。これ以外にもたくさん質問をいただきます。ここでは全て紹介する余裕がありませんので、後の質疑応答の時間に譲りたいと思います。また、セミナー後の個別留学相談やメールで問合せいただいても結構です。

最後に来春 (25 年春) のお勧めロシア語短期研修について、JIC では ①モスクワ大学タシケント校で学ぶ「春のウズベキスタン短期ロシア語研修」(25 年 3 月 5 日~3 月 21 日)、②サンクトペテルブルグで学ぶ「短期ロシア語研修 9 日間」(3 月 2 日~3 月 10 日) の 2 つのプランを用意しています(詳細は、JIC ホームページでご確認ください)。



【ロシア現地からの報告】最新事情と注意点

「モスクワの現状～安全状況と生活」

チステリーナ・イリーナ (JIC モスクワ事務所 所長)

皆さんこんにちは。モスクワ事務所のイリーナです。今日はモスクワの現状、特に安全状況とモスクワの生活についてお話しさせていただきます。

モスクワの日常生活は平穏です

小西さんの報告の通り、2020 年 3 月に日本外務省は、海外安全情報でロシアの危険レベルを引き上げました。ロシア全土でレベル 3、ウクライナと接する 3 つの州（ブリャンスク州、クルスク州、ベルゴロド州）ではレベル 4 が宣言されています。ロシア政府はこの 3 州で対テロ作戦を発令しており、国民保護のために交通や通信などいろいろな制限措置をとる可能性が高いです。これら地域の国境近くの住民は他の都市に避難しました。

一方、モスクワはこれらの地域から約 600 km 離れているので、日常生活は比較的平穏を保ち続けています。スーパーやレストラン、劇場とかコンサートホール、博物館などは平常通り営業しています。食料品や日用品の商品不足はなくて、停電や断水も発生していません。市内の交通機関も普通通り運行しています。



写真:モスクワ市内の様子

ただ、今年の秋にモスクワ市の郊外へドローンが飛来した事件があり、シェレメーチェヴォ空港が一時閉鎖されました。空港閉鎖はフライトの発着に遅延をもたらしましたが、数時間以内に解除されて、モスクワ空港はすぐ通常業務に戻りました。

2024 年は観光でロシアを訪れる人が増えました。ロシア国境局の統計によると、2024 年 1 月～9 月の外国人観光客数は 102 万人に達し、昨年同期比で約 3 倍となっています。増加の主な要因は中国からの観光客です。今年は 73 万 1100 人の中国人観光客がロシアを訪れました。その他、ドイツやイラン、トルコからの観光客も増えています。観光増加はロシア経済活性化に貢献しています。

トラブルを回避するための知識と行動

モスクワで安全に過ごすために、いくつか重要なポイントを紹介したいと思います。

「ロシアは危ない国だ、日本ほど安全な国ではない」という声を耳にするかも知れませんが、どの国にも危険は潜んでいます。重要なのは、トラブルを回避するための知識と行動です。

まずは、貴重品を安全に保管すること。混雑した場所や交通機関内では自分の荷物、特に財布やスマートフォン、パスポートに注意する必要があります。大事なものを後ろポケットに入れしないでください。ロシアには、「後ろのポケットは自分のものではない。泥棒のポケットだ」という表現があります。全部のお金は一つの財布に入れられない方がいい。少しだけ財布に入れて、残りはバッグや別のポケットに入れた方がいいです。

知らない人とお酒を飲むのはやめた方がいい。お酒を飲んだ状態では判断力が鈍って、危険に巻き込まれる可能性が高まります。知らない人との飲酒は、相手がどのような行動をとるのか予想することが難しいです。

政治的な話題は避けた方がいい。ロシアの文化や考え方は日本と違う部分があります。政治的な話題は知らない人との会話では避けるのが賢明です。言葉のニュアンスや文化的な背景の違いから、誤解や不快感を招く可能性が高まります。外国でのデモや集会にも参加しない方がいいです。デモや集会は平和的に行われるとは限りません。時には警察との衝突

に発展する可能性があり、怪我や逮捕のリスクが高まります。

ロシア人の多くは親切で優しいですが、そういう人ばかりではありません。安全意識を高めることで不快な危険を避けることができます。

留学中は何でもよい経験だと考える

最後に、私も日本に留学した経験があります。留学中は、どんなことがあってもマイナスに思うのではなくて、全部よい経験だと考えるようにしましょう。分からないことは何で

も質問すればいい。大学で外国人学生を相手に教える先生は親切で、良いアドバイスをしてくださいます。完璧でなくても大丈夫です。間違いを恐れず、恥ずかしがらずに、ロシア語で話してください。説明しにくいことは、Google 翻訳などのツールを利用してもいいと思います。

留学とは外国で学び生活することです。勉強はもちろん大切ですが、他の留学生と交流したり、観光名所を見物したり、ロシアの生活をいっぱい楽しんで、よい思い出を作ってください。

【サンクトペテルブルグから報告】

「ロシア留学経験者として日露学生交流を応援する立場から」

荒川 好子 (サンクトペテルブルグ国立大学東洋学部日本学科教員)

私もロシア留学経験者です。留学経験者として、また大学の教員として学生交流を応援する立場からお話しさせていただきます。

私は 1998 年にサンクトペテルブルグに語学留学のために来ました。JIC の契約校でもあるサンクトペテルブルグ国立大学附属ロシア語・文化センターで 10 か月勉強しました。その後、同大学文学部ロシア語学科修士課程で 2 年間学び、2006 年 2 月に Кандидат филологического наук という博士号を取得しました。いろいろな縁に導かれ、現在は母校の東洋学部日本学科で、日本で言えば准教授のような立場でロシア人学生に日本語を教えています。大学での授業の他にも、民間団体で日本語や書道、そろばんなどを教える活動をしています。今年でロシアに来て丸 26 年になりました。

サンクトペテルブルグの今

サンクトペテルブルグはモスクワの北西、飛行機で 1 時間半くらいのフィンランドとの国境近くに位置しています。(現在は閉鎖されていますが) 国境が閉鎖されていなければ、フィンランドの首都ヘルシンキやエストニアの首都タリンまで長距離バスで行くことができます。

サンクトペテルブルグはエルミタージュ美術館やマリインスキー劇場などがあり、ドストエフスキーの小説「罪と罰」の舞台にもなった町です。ロシアでは「文化の首都」と呼ばれており、観光客がロシア中、世界中から多く訪れる魅力的な町です。

先ほどイリーナさんから報告がありましたが、モスクワと同様サンクトペテルブルグでも、レストランや劇場、博物

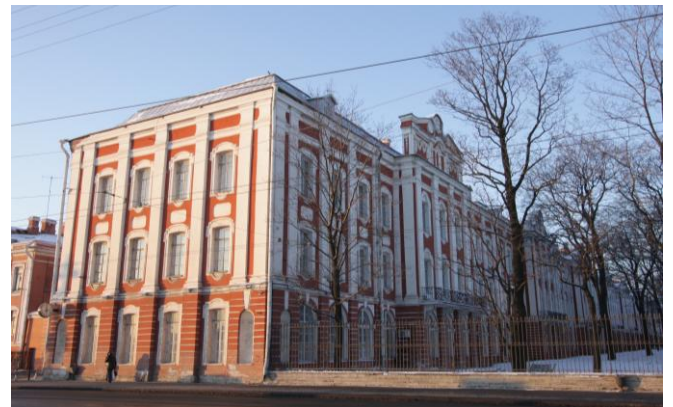


写真:サンクトペテルブルグ大学

館は閉鎖されずに、今まで通り人々は普通に文化を楽しんで生活しています。

根強い親日感情とアジア蔑視の共存

現在の私の生活は、2022 年以前とほとんど変わりありません。ロシアから日本への直行便が無くなったり、トヨタや日産の工場が撤退してしまったり、マクドナルドがロシア資本の Вкусно и точка に変わったりはしていますが、その他は今までと特に変わりありません。中国経済の影響が絶大で、日本ブームは収束してしまったように一見感じられます。でも、自動車や家電では日本企業製品の信頼は今も絶大ですし、寿司やアニメや漫画はロシア人の生活で日常的なものになり、いわば特別なものではなくなったという感じです。ロシアはもともと親日的な国なので、日本のことをとても誉めてくれます。私も日本にいるときより日本のことを好きになりました。けれども、モスクワやサンクトペテルブルグにいる出稼ぎ労働者は旧ソ連諸国のアジア系の人たちが多いの

で、その影響でアジア蔑視もあります。それほど心配することはありませんが、知っておくとよいと思います。

デジタル化が進むロシア

先ほど小西さんからも話がありましたが、ロシアではデジタル化が非常に進んでいます。先日、日本語の授業で、財布を落として交番に行くというシチュエーションの日本語の練習をしたのですが、実際には現金を持ち歩かないというロシア人学生が多くいました。最近ではデビットカードやオンラインでの支払いが主流になっています。反面、カード情報や個人情報の管理は日本より一層厳重にする必要があります。

最近ではインターネットでの買い物がすごく便利になっていて、OZON や WILDBERRIES というサイトが人気です。洋服も食料品も日用品も何でもこのサイトで揃います。学校で使う教科書も買う事ができます。

物価上昇で生活費は高騰

先ほど生活にあまり変わりがないと言いましたが、唯一大きく変わったのは物価です。2020 年のコロナの時と、2022 年の春に物価が一気に上がりました。

前回(2021 年)のセミナーでは、自炊の場合、食料品スーパーの買い物は 1500 ルーブル(※) くらい。1 週間に 2~3 回買い物に行くとして、1 週間の食費は約 4000 ルーブルだとお話ししました。今は、私は一度の買い物で 2500 ルーブルくらい使っています。ですから 1 週間の食費は 7000 ルーブルほどになります(これは最低限の食費の目安)。食費以外にもいろいろかかります。ちなみに、私の大学の自販機のおにぎりは一つ 125 ルーブル、ミネラルウォーター(500ml) は 1 本 70 ルーブルです。

※2024 年 12 月 30 日現在のレートで 1 ルーブル=1.5 円

体調管理にも気をつけて

食費の話のついでに、食べ物や買い物について触れておきます。サンクトペテルブルグは、夏は白夜で夜が明るいのですが、冬は逆に昼が短く真っ暗です。今、ペテルブルグは朝 9 時少し前ですが、今もまだ真っ暗です。皆さんの留学時期にもよりますが、もし滞在が秋から冬にかかる場合は、ビタミン D やヨウ素などのサプリを持ってきておくのと良いと思います。日照時間が短くなるとビタミン D が不足して風邪を引きやすくなりますし、勉強するモチベーションも少し下がってしまいます。

体調管理のために、気温に合わせて着る物を選ぶことも日本よりロシアでは大切です。着物を天気に合わせて、気温に合わせて選ぶことはロシアでは常識です。

今どきのロシア人学生

普段、大学でロシア人学生に接していますので、今どきの

ロシアの学生についてご紹介します。

まず、ロシアの学生はとにかく宿題が多くて忙しいです。小・中・高でも宿題は多くて、これはロシアでは普通なことなので、必然的に留学生も宿題に追われることとなります。覚悟しておいた方がいいです。勉強で忙しいのでアルバイトをしている学生はほとんどいません。ちなみに日本人留学生は就業許可がありませんので、留学中はしたくてもアルバイトできません。

ロシアでも大学入試に全国统一試験があり、地方出身の学生が増えています。私の大学の日本学科にはサハリンやウラジオストク出身の学生がいますし、ソチやカリーニングラード出身の学生もいます。日本人留学生にとっては、ロシア各地の出身の友達ができるチャンスですし、ロシア各地の状況を知ることができます。

ひところの日本ブームは終わってしまったので、アニメオタクや熱狂的日本人ファンの学生は少なくなっています。ですが、みんな普通にアニメや漫画や日本が好きで、日本人より詳しい学生が沢山います。

ロシア留学を成功させるコツ

今までたくさんの日本人留学生の皆さんを見てきた中で思うことですが、ロシアに来たら是非ロシア人の中へ自分から入って行ってみてください。ロシア語の授業は外国人クラスですから、学校の授業だけでは外国人同士のつき合いになってしまいます。ロシア人の日本語授業の見学に行ったり、ロシア人と一緒に習い事をしたりして、ロシア人の中に入ってみてください。例えばペテルブルグ大学では、東洋学部の他に文学部、法学部、国際関係学部でも第三言語として日本語を教えています。ロシアの大学には日本の大学のような部活動やサークル活動はほとんどありませんが、どの町にも合気道や柔道の教室が沢山ありますし、茶道や書道、墨絵のサークルなども人気があります。日本文化でなくても、チェスや英会話、スポーツクラブなどが沢山あります。ロシア人と一緒に習い事をしてみると、一般のロシア人でいい友達ができるかも知れません。

同時に、ロシア人とのコミュニケーションだけではなく、ある程度は日本人との交流も必要です。日本人ネットワークを確保しておくとお互いに便利な情報の交換ができます。3 ヶ月以上の留学の場合は、在留届の提出を私もお勧めします。非常時に日本領事館からお知らせを送ってもらうことができます。

便利なコミュニケーションアプリ

ロシア人学生が使う SNS は主に Вконтакте で、メッセージのような機能は Телеграм か WhatsApp を使っています。ロシアでは、Facebook も Messenger も LINE も使えません。日本にいる間に Вконтакте や WhatsApp を使える

ようにしておくことをお勧めします。ご家族にも同じアプリを入れておいてもらおうと、すぐやり取りができて便利です。ちなみに Телеграм は秘匿性が高いので、メッセージを残したくない悪い人が使うというイメージがあるかもしれませんが、 Телеграм も WhatsApp もメッセージが消えるのはそういう設定をしているからであって、設定を変えればメッセージは消えません。

ロシアのスマホはすべて SIM フリーなので、こちらでスマホを買ってロシアの SIM カードを入れて使うこともできますが、日本で使い慣れたものが良ければ SIM フリーのスマホを日本で購入する必要があります。

Facebook や LINE も VPN を使えば日本と同じように使えるようです。有料の VPN を入れて毎月の支払は日本のカードでしているという人もいます。ただロシアに来てしまったから、ロシアのネットを使ってそういうものを購入したいとなると、日本のクレジットカードが使えません。日本のクレジットカードで引き落としにしたい場合には、日本でダウンロードしておく必要があります。

Яндекс の地図機能はとても便利です。ペテルブルグではバスの運行状況をリアルタイムで見ることができて、何分後

に何番のバスがバス停に来るかも分かるので重宝しています。

ロシアと日本の違いを楽しむ

最後に、ロシア留学を成功させるためには、ロシアと日本の違いを楽しむ心が必要です。日本とロシアを比べすぎないことを心がけるとよいと思います。どこの国と比べても日本に勝る国はないと思いますが、他のヨーロッパ諸国に比べて、ロシアはスーパーの店員は不愛想だし、天気もどんよりと暗いし、日常生活においてモチベーションを維持するのが難しい留学先かもしれません。私を含めロシアで生活している日本人はみんな結構ロシアの悪口を言いながら生活しています。つい日本スタンダードを求めてしまう癖が抜けにくいようです。

でも、それが行き過ぎて、日本とロシアの違いが楽しめない人は留學生活が精神的にきつくなります。違いを楽しむ心のゆとりをもって留學生活を楽しく過ごしていただきたいと思っております。実際に私が知っているロシア人は、自分の気持ちに正直で、思いやりがあって、人間味があって、頼りがいのある人たちです。皆さんも是非、モスクワやサンクトペテルブルグ、ウラジオストク、その他の地域で、ロシア人の心の温かさを感じてください。

【ウラジオストクから報告】

「日本に一番近いヨーロッパ」

フルスタリヨバ・クセーニア (JIC ウラジオストク連絡員)

こんにちは。クセーニアです。ウラジオストク出身です。皆さんと同じように外国語を勉強しています。私の場合は日本語です。初めて日本に行ったのは 11 歳で、その頃から通訳になりたかったです。もう何回も日本に行きましたが、留學の経験もあります。多分、人生で一番楽しい時期でした。勉強の他に、日本のあちこちへ旅行したり、日本文化を学んだり、柔道もやりました。友達がいっぱいできました。

「近いヨーロッパ」と「近いアジア」

ウラジオストクは日本のすぐ隣ですね。2020年3月までは直行便で2時間でした。日本の旅行ガイドブックでは「日本に一番近いヨーロッパ」と呼ばれています。けれども、モスクワやロシア国内の観光客からは逆に「近いアジア」と呼ばれます。ウラジオストクはアジアに開かれた港町だし、ヨーロッパとアジアのどちらの文化も混じり合ってるんですね。

2022年2月からロシアは危ないと思われています。でも、危ないのは西の方です。ウラジオストクは9000km離れているので、あれから3年近くたった今も極東の生活は全然変わ

っていません。もちろん経済的な影響があります。インフレは厳しい。けれども、心配なドローンも飛んで来ない。ウラジオストクの人たちに外国人に対する憎悪の気持ちは全くありません。

極東連邦大学とロシア語文化センター

極東連邦大学は、金閣湾を挟んだ対岸に位置するルースキー島にあります。とても広いキャンパスで、学校と寮の建物、噴水や公園、テニスコートなどがあります。

しかし、市内中心部の旧校舎の一角にあるロシア語文化センターは少し違います。ソ連の雰囲気はまだ残っています(笑)。学生寮は10階建ての建物です。5年前にエレベーターが故障して長い間止まっていた。一回、留学生と3階までスーツケースを運んだ時は大変でした(笑)。今はもう動いています。長期留學の場合、寮ではなくアパートを借りることもできますが、一カ月に約5万ルーブルかかります。学生寮は何倍も安いです。

ウラジオストクの中心部からルースキー島にある大学の



写真:(上)極東連邦大学全景 (下)学生寮と内部の部屋

メインキャンパスまで、バスで片道 40 分くらいです。入学手続きはメインキャンパスで行うので、一緒にルースキー島までいかなければなりません。しかし、留学生が授業を受けるのは中心部の旧校舎です。ですから、学生寮の周りに生活に必要なものは何でもあります。買い物をするスーパー、薬局、電気製品ショップ、銀行、印刷センター、それにファーストフードをはじめいろいろなレストランがあります。

ウラジオストクを楽しんでください

ウラジオストクには、ロシア料理はもちろんいっぱいありますが、日本料理、中華料理、イタリアン、インド、メキシコ料理のレストランもあります。ロシア語の勉強は大事ですが、私の経験では大事な勉強は学校の外にもあります。博物館、美術館、映画館、劇場、公園、カラオケ…、ウラジオストクでさまざまな経験をさせていただきたいです。マリインスキー劇場でロシアバレエを楽しむ。アムール虎の祭りや食のフェスティバル＝「ホタテ祭り」、「カニ祭り」などもあります。夏には船で周りの島に行き、キャンプや日帰りツアーができます。今年の夏、私は海岸でウニ狩りをしました。獲ったウニを石で割ってすぐ食べました。美味しかったです。

沿海地方は山とタイガの地方なので、登山とハイキングルートがいっぱいあります。興味がある人は是非体験してみてください。

凍結した海の上を走ったことはありますか？ウラジオストクでは毎年 2 月にアイス・マラソンが開催されます。来年 (25 年) で 10 回目です。世界中から参加者が来ています。

留学で大事ななのは現地の人との交流

留学で一番大事ななのは現地の人との交流です。私は、学生

時代に日本語会話クラブに入っていました。今年の夏、JIC は極東連邦大学にサマースクールの学生を送りましたが、これを手伝っていた日本語学科の学生はとても喜んでいました。彼と話すと、このところウラジオストクには日本人がほとんどいないので、「日本人と話せない」「会話クラブができない」とすごく悩んでいるそうです。日本から 1 人でも留学生が来てくれると、会話クラブが元気になります。私たちは会う時、ロシア人は日本語で、日本人はロシア語で話します。分からない言葉とか文法があればすぐに教え合いをする。本当に楽しくて、早く言語に慣れるチャンスだと思います。

ウラジオストクで便利なアプリ

最後にウラジオストクで便利なアプリを紹介します。2 ГИС (ダブルギース) という地図アプリです。モスクワやペテルブルグでは Яндекс ですが、ウラジオストクでは 2 ГИСの方が正解です。

地図で場所や行き方を探すだけでなく、バスの運行状態もライブで確認できます。バスはスケジュール通り動かないですね。寒い季節に長時間バスを待つのは大変です。アプリで確認してバスが来る時間にちょうどバス停に行くことができます。このアプリでバスの番号を入れると、ルートや料金が確認できます。

バスは市内どこへ行っても同じ金額ですが、郊外に行くと高くなります。バスには支払方法によって 3 つの料金表があります。一番目は IC カード、二番目は銀行カード、三番目は現金です。二番と三番はわかると思いますが、IC カードは何でしょう？Т-карта (T カード) です。本物のカードは 100 ルーブルで買えるし、Т-карта のアプリでも登録できます。入金はずベルバンクの ATM や銀行カードでできます。Т-карта を使ったらバス代は一番安く 35 ルーブルです。現金の場合は 45 ルーブルです (※註)。この差は大きいです。

皆さん、ウラジオストクでお会いしましょう。

※註；2024 年 11 月現在の情報。25 年 1 月のバス代は「Т-карта を使ったら 39 ルーブル、現金の場合は 50 ルーブル」になっている。



↑ トラ祭り

→
氷上マラソン



【報告・ロシア語留学の今】

「ロシア以外の国でのロシア語留学」

小原 浩子 (JIC ロシア語留学担当)

私たち JIC はロシアへの語学留学にずっと取り組んできたわけですが、残念ながら 22 年 2 月以降ウクライナ戦争の影響で、ロシア留学がかなり難しくなりました。大学からロシアへの留学は止めるようにと言われて、ロシア以外の国で留学を検討している人が多くなっています。そういう方への選択肢として、ロシア以外でロシア語の勉強ができる留学先を探してきました。ここでは、バルト三国と中央アジアの国々で、JIC が提携している大学・学校を紹介します。

ヨーロッパ (バルト 3 国) でのロシア語留学研修

バルト三国 (エストニア、ラトビア、リトアニア) はロシアの隣、バルト海に面した国々で、かつてのソ連構成共和国です。実際、今もかなりのロシア人が暮らしていますが、戦争の影響でやはり対立感情は複雑なものがあります。

タリン大学 (エストニア)

1 年間 (10 ヶ月間) のロシア語コースはありますが、これはエストニア語でロシア語を勉強するコースで、非常にハードルが高いです。しかし、夏や冬に短期コースがあり、こちらはロシア語でロシア語を教えています。初心者にとってはちょっと難しいですが、ロシア語で日常会話程度ができる人には集中トレーニングのよい機会になると思います。

ダウガピルス大学 (ラトヴィア)

首都リガから車で 1 時間くらいの郊外にある大学です。この 1 年間 (10 ヶ月間) コースではロシア語でロシア語を教えています。ロシア語の学習だけでなく、ロシア語でロシア文学や政治・経済、国際関係などを勉強するコースもあります。基礎的なロシア語教育を受けた人で、さらに専門的に勉強したい人に向いています。

夏の短期コース (サマースクール) では初心者向けコースも可能ですが、「グループレッスンで、同レベルの人が一定数集まれば」というような条件が付きまします。参加者のロシア語レベルを揃えることがなかなか難しいので、グループ内に初心者に近い人やあるいは逆にずっとよくできる人が混じると、双方にとって授業内容に不満が生じることとなります。コースを変えたり追加の補習を受けたりする必要があるかもしれません。JIC では昨年 (23 年) の夏に短期ロシア語研修ツアーをダウガピルスで行った実績があります。

リデン&デンツ・リガ校 (ラトヴィア)

リデン&デンツはスイス資本の語学学校で、ロシアのモスクワ、サンクトペテルブルグ、イルクーツクとラトビアのリガで外国人向けロシア語教育事業を展開しています。ロシアに行きにくくなった現在、リガ校の人気が高まっています。ラトヴィアは EU の加盟国で 90 日間ビザなし滞在が可能なので、渡航手続きが簡単なのも魅力です。宿泊は、ホームステイ (ロシア語または英語が話せる家庭) か学校所有のシェア・フラットです。一カ月に一回程度初心者コースの開始日が設定されているので、ロシア語初心者でも受け入れが可能です。

タリン大学、ダウガピルス大学、リデン&デンツ・リガ校とも英語ホームページが充実しているので、個人で条件を確認して、入学手続きを行うこともできます。ただし、条件をよく確認しないと、現地語でロシア語を教えるとか、夏のハイシーズンは通常より料金が上がるとか、思わぬ落とし穴がないとは言えません。バルトは総じて留学費用がかなり高額なものにも留意しておく必要があります。

中央アジアでのロシア語留学研修

中央アジア諸国 (カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン) も旧ソ連の構成共和国でした。私たちはアルマトイにあるカザフ国立大学、ビシュケクのキルギス国立大学と提携してロシア語留学生を送り出しています。

いくつかの特徴

中央アジアでのロシア語留学の特徴はいくつかありますが、まず研修費用が比較的安いことが挙げられます。10 カ月当たりの研修費用 (学費) で比較すると、ロシアのモスクワ大学やサンクトペテルブルグ大学では 100 万円を超えているのに対して、カザフ国立大学は約 40 万円、キルギス国立大学は約 18 万円と大幅に安いです。

二つ目の特徴は、これらの国がロシア語も公用語としており、実際、日常的にロシア語が使われているということです。バルトの国に比べても使用頻度が高いです。中央アジア 5 カ国の中でも使用頻度に濃淡がありますが、カザフやキルギスではロシア語が普通に話されています。

三番目は、ロシアと違ってVISAやMasterなどのクレジットカードが使えるということ。以前はカザフ、キルギスともカードが使える場所がかなり限られていましたが、ここ10年ほどの間に急激に変わりました。今やクレジットカード、デビットカードが街中で普通に使えますし、カザフスタンに至ってはほとんどがキャッシュレス決済になっています。

最後に、日本から比較的行きやすく、渡航費も安いことです。カザフのアルマトイへの航空路は、韓国(ソウル)経由でアジアナ航空が便利です。キルギスの首都ビシュケクへは、やはりソウル経由で韓国のLCC(格安航空会社)ティーウェイ航空が運航しています。運賃は時期によりますが片道約5~7万円です。

中央アジアでの留学の注意点

こう見ていくと、中央アジアでの留学はなかなか魅力的ですが、注意点がいくつかあります。

一つ目は、当たり前のことですが、これらの国々ではロシア語が母語ではないということです。現地の人たちはもちろんロシア語教育を受けているわけですが、発音や文法などがやはり正確ではなく、現地なまりであるとか、文法無視の言い回しもよく見受けられます。大学のロシア語の先生はもちろん綺麗なロシア語を話しますし、正確なロシア語を教えてください。けれども、街中でお店の人と話す時はいろいろなロシア語(笑)に出くわすことになります。

二つ目は、授業のコマ数が少ないこと。1週間=15 ac.hour アカデミックアワー(※)というのが、キルギス国立大学、カザフ国立大学の平均的な授業時間数です。これはロシアの大学の一般的な授業時間数に比べて4分の3くらいです。ロシアでは1週間=20~24 ac.hourなので、ちょっと少なく感じます。

また、夏休みの期間、6月後半から8月いっぱいには授業が行われません。

※アカデミックアワー=大学・学校での授業時間の単位。「1時間」は通常45分または50分。

三番目は、私費留学の場合、大学寮には基本的に入れないということです。キルギスではホームステイ、カザフではアパートまたはシェア・フラットを手配することが多いです。大学がよい宿泊先を紹介してくれることは少ないので、自力かまたは現地の知り合いを通して宿舎を探すことになります。

最後に、困ったことに、現地の受入条件はしばしば変更されることがあります。中央アジア諸国でロシア語留学生の受入が急増したのは、端的に言って2022年春以降のことです。ロシアへの留学が困難になって中央アジアに来る留学生が急に増え、現地の大学は急遽、留学条件を整備し始めたという事情があります。ビザの必要書類、研修条件=授業数や授業内容、授業料、住居の条件など変更されることがよくあります。前年はこうだったのに今年は違っているというようなこ

とが多く、手配に当たる私たちも気が抜けません。今後、留学生の受け入れがさらに拡大していけば、受入条件は安定してくるだろうと思うのですが、今のところはまだまだ変更される可能性があると思います。

JICとしての取り組み

中央アジアに留学する人の中には、大学間の交換留学でカザフやキルギス、ウズベクの大学に行く学生さんもいらっしゃいます。交換留学の場合、現地受入大学の担当者が授業の選択や宿舎の手配、手続などを手伝ってくれるはずですが、私費留学の場合には基本的に自力でいろいろな手続きをする必要があります。

JICでは、現地に到着した直後の留学初期を不安なく乗り越えられるよう、サポート体制の整備に取り組んでいます。

まずは、到着時の日本語対応の充実です。現地で留学生をサポートしてくれる日本語のできる人と契約し、出発前からアパートやホームステイ先探しを依頼。到着時に空港まで出迎えて、翌日の入学手続きまでサポートしてもらいます。

また、出発前に現地サポーターとオンラインで顔合わせをして、住居条件を確認したり、到着時の不安や疑問に答える時間を作るようにしています。

面倒な手続きのサポートもあります。カザフスタンの場合、現地での必要書類の公証訳とその費用の支払い代行、キルギスの場合は留学ビザへの切り替え手続きや滞在登録のサポートなどを行っております。

詳しい条件等については、いつでもお問合せください。以上です。

【質疑応答】

質問1;留学生は現地でアルバイトができないということは、ビジネスロシア語は授業で学んでいくしかないのでしょうか?卒業後スムーズに現地で働く手段はどんなものがあるのでしょうか?

回答(岡本) ビジネスロシア語を学びたい場合、そういう授業を提供している学校を探して、ビジネスマンがよく使うロシア語表現やビジネス用語を専門的に教えてもらうことはできると思います。おそらく質問者が期待しておられる実践の場でのビジネスロシア語というのは、給料をもらわないボランティアという形ならどこかの会社で関われるかもしれませんが。しかし、留学中に堂々と給料をもらって仕事するのは難しい。ロシアでは法的に不法就労になってしまいます。「タダ働き」という言葉が悪いですが、ボランティアで関われる場所をロシア人の友人に紹介してもらえれば、それに近い体験ができるのではないかなと思います。

質問 2 ; ロシア語留学を終えた後、そのまま日本に戻らずに現地で働きたいという場合、それは可能ですか？

回答 (岡本) 留学生がそのまま現地に残って就職するというのは、これはビザの仕組み上無理ですね。思い切り頑張れば、留学中に現地で就職活動をして、採用決定までは多分できると思いますが、もしそうなったら一度ロシアを出て、改めて就労ビザを取得してロシアへ渡航するということになります。就職先がしっかりした会社だったら就労ビザの手続きまでやってくれるはずですが、しかし、自力でビザを取って来いと言われてたらその会社やめた方がいいと思います。なので、留学中になるべくいろんなコネクションを使って就職先を探されたらいいのではないかと思います。

質問 3 ; 仮に、ロシア人のパートナーと結婚して配偶者ビザをとる場合、留学後もそのままロシアに居続けられるのでしょうか？ それとも日本に戻ってきた方がいいのでしょうか？

回答 (岡本) ロシア人の方と結婚して正式に手続きをすれば、配偶者ビザでロシアに滞在し続けることができます。では、そのビザで現地の人と同じように就職して仕事ができるかというところ、詳しくは知りません。

配偶者ビザの場合、もしかしたら何らかの方法で、留学中に現地でビザを切り替えることができるかも知れませんが、正式な結婚の手続きをロシアでも日本でもしなければならぬと思います。現地で相談できる日本側窓口は大使館か総領事館です。ロシア側でも結婚の手続きで役所に行かなければなりません。

質問 4 ; 現地の銀行で口座を開くために必要なものは、具体的に何でしょうか？

回答 (イリーナ) 銀行によって書類が違う可能性がありますが、ズベルバンク銀行で口座を開く場合に必要なのは、パスポート、ロシアの携帯電話番号、出入国カードの 3 点です。

SBI 銀行モスクワで口座を開く時はもう少し複雑です。特別のアンケート用紙に必要事項を書いて、日本の個人番号が必要です。モスクワの SBI 銀行には日本語のできるスタッフがいますから、直接 SBI 銀行モスクワに連絡して方法を確認することができます。メールでも電話でも連絡ができます。

質問 5 ; ズベルバンク銀行で口座を開くのは、短期留学でも可能ですか？

回答 (イリーナ) 短い滞在でも開設できますが、帰国前に必ず口座を閉める必要があります。すぐにまたロシアにもど

る場合には口座を閉める必要が無いかもしれませんが、私が銀行と何回か話した時には帰国する時に口座を閉めた方がいいと言われました。

質問 6 ; 子連れで数ヶ月間の留学を考えているのですが、外国人でも現地で短期間、保育園などに子供を預けることができるのでしょうか？

回答 (クセーニア) 今、詳しくは分かりませんが、ウラジオストクにある日本の総領事館や他の国の領事館の館員の子供たちは一般の学校に通っているの、なんとかできると思います。外国人向けに英語で対応している私立の幼稚園もあります。ただ、学生寮に子連れで住むのは無理だと思うので、アパートを借りる必要がありますね。

回答 (イリーナ) 私も詳しくないですが、モスクワには私立幼稚園があるので、そこは大丈夫かも知れませんが、子供を預ける費用がいくらかかるかは全然分かりません。

質問 7 ; 通貨の両替をするときに日本の空港の両替所と、ロシア現地の両替所のどちらを使うと良いでしょうか？ 交換レートはどちらも同じでしょうか？

回答 (岡本) 日本の空港ではロシア・ルーブルは両替できません。現地で日本円あるいはドルやユーロからルーブルに両替するしかなくて、日本円からルーブルに替えられる場所が少ないしまたレートも悪いので、出発前にあらかじめドルかユーロに替えて現地に行った方がいいですよというのが、本日の説明でした。

現地でルーブルに両替する時は、空港の両替所よりも市内の両替所の方がレートがよいと言われています。どうしても必要な空港では最小限の両替にとどめて、あとは市内で両替されたらいいと思います。ただ、市内でも銀行や両替所によってレートが違うので、よく見比べて、一番有利なところを選ぶのが賢明です。

質問 8 ; 例えば、ロシアのモスクワに行く場合、直通便がないので、中国で乗り換えるルートか中東で乗り換えるルートになりますね。いくつかあるルートで、何を基準にそのルートを選べばいいのですか？

回答 (岡本) モスクワ行きの場合、有力なルートとしては中東経由、中国経由、中央アジアのタシケント経由などがあります。何を重視するかでルート選びの答えは変わります。少しでも安い方がいいのであれば、その時調べて一番安く買えるルートが答えになります。航空チケット料金は、シーズンや予約の混み具合によって変動するので、予約時点で一番安いチケットを選ぶしかないと思います。値段ではなくて所要時間だという人もいます。所要時間が短いのは中国

経由です。北京経由でモスクワへ飛ぶのが、現状では最短ルートです。中東経由だと最低でも20時間は絶対にかかります。

それ以外にもいろいろ考え方があって、例えば預ける荷物が沢山ある場合に、荷物預かりの基準が緩い航空会社を選ぶというのがあります。航空会社の客室サービスや安全性へのこだわりもあるかもしれません。重視したい条件から調べていただければいいかと思います。

質問9 ; 24年10月発表のJIC短期語学研修料金表は、25年3月に行くとするとう変わりますか？

回答(小西) 料金は基本的には変わりません。ただし、24年10月時点での為替レートに基づく料金表ですので、レートが大きく変動した際には調整する場合があります。特に大幅な変動がなければ、基本的には料金の変更はないと考えていただいで大丈夫です。

質問10 ; 短期語学研修で、夏休み期間とか時期によって通常より料金が高くなることはありますか？

回答(岡本) 学校によっては、ハイシーズン料金を設けているところがあります。ただ、JICの短期随時研修の料金表はそういった条件を折り込んで、夏休みだからとか気にしないでよい作りになっています。

回答(小西) 料金表に参考料金としている語学学校(デルジャービンとリデン&デンツ)は、別刷りの詳しいパンフレットに、「請求書発行時のレートで料金を最終的に出します」という注意書きがあります。それ以外の受入先は料金表通りです。

質問11 ; 長期留学でモスクワ大学の10ヵ月料金は、4月出発と9月出発で料金は同じですか？10ヶ月より短い場合はどうなりますか？

回答(小西) 9月出発と4月出発で料金は違います。ロシアは9月が年度始まりで6月までの10ヵ月間が一つのパッケージとなります。日本の学期始まりに合わせて4月出発にするとそのパッケージが採用されないで、「現学期分(4-6月)+夏季分(7-8月)+次学期分(9-1月)」と細切れで計算するので、高くなります。

10ヵ月より短く、例えば6ヵ月とか7ヵ月留学する場合は、その分だけ安くなります。ただ、授業料は正確には週割で計算されるので、留学期間分を週換算して金額を出します。いずれにしても、10ヵ月ではない留学を希望の方には、出発時期や留学期間に合わせて個別に見積りを出して料金をお知らせしています。

質問12 ; 手元にあるのは25年4月出発の料金表ですが、25年9月の料金はまた別に出されるということですか？

回答(小西) 長期留学については、春(4月)にその年の9月出発の料金表、秋(10月)に翌年4月出発の料金表を出しています。随時出発の短期研修については、4月にその年の6月~12月出発の料金表、10月に翌年1月~5月出発向け料金表を出しています。

質問13 ; ロシアの物価上昇率はとても高くなっているように感じました。現地の人たちはどうやって生活しているのでしょうか？

回答(クセーニア) 「なんとか生活している」というのが答えですね。本当に物価は毎日高くなってきて、ちょっと苦しいです。買い物の回数を減らして、みんな節約して暮らしています。

質問14 ; ロシア人は、仕事や利害が関係するとシビアだが、そうでない時は人懐っこくて親切と聞きますが、実際はどうなんですか？

回答(クセーニア) どうでしょう？人によると思いますね。ロシア人一般を言うのは難しいです。ただ、ロシア人は日本人と違って、自分の気持ちを直接表現します。嫌なときや気持ちが悪い場合、ロシア人はすぐ顔に表します。「言いたくない」「話したくない」とかですね。大丈夫なら、親切な顔で話します。

日本人がいつも驚くのは、スーパーマーケットですね。日本だと「いらっしゃいませ〜」「どうぞご覧ください〜」とみんな笑顔で対応していますが、ロシアでは店員はいつも素っ気ない顔をしています。不親切に見えますが、これもロシア人の普通の姿です。

回答(岡本) 是非ロシアに行って、ご自身で体験してみてください。

(2024年11月23日/JICロシア語留学セミナー)